



清風鉄研
第一こだまNO.97

EXCLUSIVE RAIL #1



—僕らが貸し切った、
あの日の鉄路—

目次

- FILE 1** 23年度夏 阪堺 モ161形-166号
- FILE 2** 24年度夏 嵐電 モボ301形
- FILE 3** 25年度春 近鉄 15200系
- FILE 4** 25年度夏 阪堺 モ161形-161号
- FILE 5** 25年度夏 近鉄 6600系



FILE 23年度夏・阪堺モ166号

阪堺電車の歴史が始まった1900年から123年。
2023年、私たちは「日本最古の現役電車」として知られるモ161形-166号を貸し切りました！
1928年（昭和3年）生まれのこの車両、実は冷房が一切ありません。
そんなレトロな名車で挑んだ真夏の貸切運行。
窓全開で走る大都会の熱気と、昭和の風を感じる旅の行方は……！？



車内では「アナウンス再現大会」や「先輩方が考えた！鉄道クイズ大会」を実施しました。大いに盛り上がり、コロナ禍で薄まっていた先輩後輩間の交流のきっかけとなりました。

途中、「我孫子道車庫」に寄り道し、撮影会を行いました。

その際、ご厚意で幕回しをして頂きました。



【参加者生徒の感想文を紹介します。】

「私は、今まで阪堺電車に乗ったことがなかったので、このような電車の貸切という機会を得ることができ、とても楽しみにしていた。貸切体験当日、乗車したのは旧型のモ166だった。モ166には冷房はなかったが、窓を全開にしていたので風通しがよく、開放感があった。また、木製の車内や、床下から聞こえる吊り掛け駆動のモーター音など、古い電車ならではの風情を感じることができ、普段比較的新しい電車に乗ることが多い私にとって、逆に新鮮だと感じた。そして、この貸切体験で私が特に印象に残ったものは、我孫子道車庫でのモ166の撮影会である。なぜなら、運転士の方のご厚意で、幕回しや試運転幕の掲示、さらには前照灯の点灯までしていただき、普段見ることがない光景を写真に収めることが出来たからである。」

他の感想文はこちらへ▶[HTTPS://X.GD/DGQMQ](https://x.gd/dgqmq)

FILE2 24年度夏・嵐電(京福電鉄)



嵐電で親しまれている京福電鉄。

今夏貸切った車両は、モボ301形-301号。

嵐電が現有する最古の車両であり、2007年に1度廃車の危機にもあったにもかかわらず、現存している奇跡のような電車です。

ちなみに前回貸し切った、日本最古の現役車である阪堺モ161形より43才若いです。

モ161形と違い冷房化改造済みですが、なんと言ったって真夏の京都盆地…熱中症対策万全で臨みました。

単行列車の一つ屋根の下で広がる、一夏の物語をご覧ください！

ほぼ恒例となっているクイズを実施しました。

今回は、車内から車窓を眺めて答えを探すというタイムリーな嵐電の問題が多かったので臨場感がありました。



路面電車といえばほぼ各駅停車ですが、貸切列車の醍醐味としていくつもの駅を通過していくことがあります。

また、京都といえばオーバーツーリズムが問題としてよく挙げられます。観光客の多い嵐電の前面展望を独り占めできるのも珍しいものでしょう。

FILE3 24年度春・近鉄あおぞらⅡ



今回、私たちが貸し切ったのは15200系「あおぞらⅡ」。2021年に惜しまれつつ定期運用を終了した、昭和を代表する特急車両12200系「スナックカー」を種車として改造された、団体専用車両です。

かつて近鉄特急の象徴として一世を風靡した「スナックカー」の面影を色濃く残しながらも、空をイメージした爽やかな装いに身を包んだこの車両。

かつての特急街道を颯爽と駆け抜ける姿は、今もなお特急車両としての誇りと風格を漂わせます。

「スナックカー」から「あおぞらⅡ」へ。受け継がれた近鉄特急のDNAを感じながら、特別な旅の幕が上がります。



今回の経路では定期列車で入ることのできない「八木西口短絡線」を通過しました。

また、橿原神宮前駅では入れ換えのため2番線の奥に停車しました。

右の写真は、その際に駅構内にある踏切から撮影したものです。



史上初の路面電車以外として、クロスシート車の貸切でした。座席が向かい合わせということもあり、移動中も部員同士の親睦がより一層深まったようです。

また、恒例のクイズ大会も開催しました。今回は解答用紙を用いた本格的な形式で、複雑かつ難解な問題の数々に、部員たちは頭を抱えながらも熱心に取り組んでいました。

FILE4 25年度夏・阪堺モ161号



またまた阪堺電車を貸し切らせていただきました！
今回は「昭和40年代復元車」である161号を使用し、前回の166号とは一味違うレトロな雰囲気を楽しみました。

そして特筆すべきは、清風鉄研史上初となるテレビ取材です。NHK BS『大阪 路面電車の旅』の撮影が行われ、当部の活動が紹介されることとなりました。

番組の一部としての取材とはいえ、初めてのカメラを前に部員たちは緊張の色を隠せませんでした。それでも、普段通りの活動の魅力を届けようと奮闘する姿を、ぜひご覧ください。

高3生主催で阪堺電車沿線に関するクイズを駅区間ごとに出題しました。

そして希望者による「アナウンスのど自慢大会」も開催されました。



左の写真は、実際に放送された映像の一部です。

番組内では、今年度で卒業を迎える高校3年生の記念撮影が行われました。

旅の締めくくりには、当時の高2部長から高3生へ、6年間の感謝と受験に向けた激励の言葉が贈られました。

今回も我孫子道車庫にて幕回しをしていただきました。



走行中はよりレトロ感を演出するために方向幕を隠されていました。



FILES 25年度夏・近鉄南大阪 / 吉野

清風鉄研史上最大規模！ 朝から夕方まで、南大阪線系の全線を縦横無尽に駆け巡る大移動。

旅を共にするのは、2両編成の界磁千ヨッパ制御車・6600系6604F（FT04）。

しかもこの車両、6600系で唯一「ハロゲン灯」を灯す最後の編成。緑深き吉野に響き渡る千ヨッパ音… 真夏の旅が今、始まります。



貸切運行ならではの魅力は、何ととっても日常ではあり得ない「異経路」の走行にあります。本企画でも、富田林や橿原神宮前での入換線体験、さらには主要駅の高田市や古市を堂々と通過しました。

貸切列車は、乗客が知り合いだけという点も大きな魅力です。気兼ねなくリラックスできる空間で、ロングシートに腰を下ろしたり、美しい景色に集中したりと、思い思いの時間を過ごせます。また、この列車は窓が開閉可能な通勤車両です。窓を全開にして吉野の雄大な緑の中を駆け抜ける体験は、まるでトロロコ列車に乗っているかのような開放感と爽快感がありました。



車内では毎回恒例のクイズ大会も実施しました。今回はちょうど走行している沿線になんだ問題が出題され、車窓を眺めながら答えを探すなど、貸切列車ならではの臨場感あふれるひとときとなりました。

御所駅と橿原神宮前駅では撮影会を実施しました。ご厚意で「幕回し」も行われ、「橿原神宮前・富田林」といった現在は設定されていない貴重な表示が披露されました。普段は見ることでない行き先が表示されるたびに、部員たちからは大きな歓声が上がっていました。



【参加者生徒の感想文を紹介します。】

この貸切は、自分が鉄研に入部してから4回目の貸切で、近鉄の貸切としては4月に続いて2回目です。今回の貸切では、車内でのクイズ大会や、駅での撮影会などがありました。クイズ大会では、使用する南大阪線関連や近鉄に関する豆知識などが出題され、難しいものが多かったですがとても楽しむことができました。

撮影会は幕回しもあり、現在は使われていない方向幕もあり、とても貴重な体験をすることができました。

また、今回の貸切企画はミステリーツアーとなっており、ルートや車両が発表されておらず、何が来るのかと思いながら貸切列車の入線を楽しんでいました。

今回は所要時間が約6時間と過去最長でしたが、内容もとても充実しておりとても楽しむことができました。最後になりましたが、このような企画を考えて下さりありがとうございました。

第一こだま 第97号「EXCLUSIVE RAIL #1」

▼発行：清風学園 鉄道研究部

▼発行者：清風学園 鉄道研究部 高2部長 中2広報課課長

▼初版：2026年 6月 26日

©本誌掲載の写真・文章の著作権は発行者に帰属しますが、部活動内における二次利用に関してはこれを承諾します。